



## 長野県

# 地域の自然を見つめよう

基にしたモデル的なプログラム

環境ウォッチングで提案づくり

里山たんけん隊

さまざまな視点から水について考えよう～水の総合学習プログラム～

作成団体

公益財団法人 公害地域再生センター（あおぞら財団）、  
特別非営利活動法人 きんたろう倶楽部、教育開発研究会

実証協力校等

松本市立会田中学校

SDGsの要素



ESDの要素



能力／態度



### ● プログラムの概要

長野県では「学校登山」が行われる。登山を体験することで、自然、山と人間のつながりや環境に関する課題を認識する。会田中学校は松本市の山間部（四賀地域）にあり、学校の敷地内に学有林がある。しかし、生徒にとって、その風景や環境は当たり前であり、地域の自然に目を向け、活動する機会はあまり多くない。このプログラムは、学校登山での経験や気づきや、地域の自然環境についての体験型の学びや話し合いを通して、地域の自然環境や人々への理解と愛着を深め、四賀の森林、自然とどう関わっていくのか、地域に関わる意欲を育む。

## ● プログラムの目標

学校登山の経験、水の学習、身近な里山の木材を使ってのエネルギー学習、バウムクーヘンづくり等木の体験学習を通して、地域（四賀）の自然、里山への理解を促し、自主的、自発的に関わる思考を育む。



四賀のこと「もっと」知りたい！



裏山の木材の炭で、初めてのバウムクーヘンづくり！①



裏山の木材の炭で、初めてのバウムクーヘンづくり！②

## ● 参加者の声

- ・ 四賀地域について知らないことなどがまだあるから興味がある。
- ・ 四賀の自然をもっと知りたい。自分自身で体験しながら学ぶ学習がおもしろかった。
- ・ 自然のパワーはすごい。
- ・ 日々の生活にメリットがあったりすることが多い。

## ● プログラムの流れ

事前学習	学校登山
1・2時間目	登山ふりかえり学習
3・4時間目	環境教育「水ってなんだろう」
5・6時間目	森林資源の活用、自然エネルギーに関する学習
7・8時間目	木に関する授業とバウムクーヘンづくり体験学習
9時間目	学習のふりかえり
10時間目	「四賀の地域資源である森と共生するために何ができるか」考える
11時間目	学習発表会